

知っていますか？集いの場の大切さ



写真：中央地区新田自治会「新田趣味の会」での出張福祉教室のようす

丹波市社協では、地域の『集いの場』の開設や運営の支援を行っています。

毎週1回、決まった曜日・時間に公民館などに集まり体操をする『いきいき百歳体操』や概ね月1回程度集まりお茶やコーヒーを飲みながらお話しや脳トレなどを通してふれあう『ふれあい・いきいきサロン』などの支援を中心に、多世代の住民が交流する『子ども食堂』や自治振興会を会場とした『コミュニティーカフェ』の支援なども行っています。

定期的な集いの場は、高齢者の社会参加や見守りにも繋がるとも大切な場所です。また、集いの場を運営するボランティアのみなさんも日々工夫をしながら取り組まれています。

これからますます重要となってくる『集いの場』の開設や運営についてのご相談など、下記支援内容を参考にして、お気軽にご相談下さい！

開設準備支援

- コミュニティーカフェ運営支援事業
(カフェなどの集いの場の開催を検討時に社協職員が訪問してコーヒーなどを提供し、最大5回までカフェのお試し開催を支援)
- 他地区の視察調整
(開催前に他地区の取り組み内容などを見てみたいなど)
- 各種情報提供、相談
- 助成金案内 (開設準備費)



運営支援

- 出張福祉・介護教室事業
(健康づくりや認知症予防などのお話し)
- レクリエーション講師の紹介 (歌やダンス、脳トレなど)
- 専門職の方の紹介
(健康体操や認知症予防のお話しなど)
- レクリエーション用具の貸出 (輪投げ、ポッチャなど)
- 各種情報提供、相談
- 助成金案内 (運営費)
- ふれあい・いきいきサロンボランティア交流会の実施



あかはねちゃん(県共同募金会マスコット)が 初めて丹波市へやってきました！



10月14日、兵庫県共同募金マスコット「あかはねちゃん」が、認定こども園ぬめぎのさくら組(5歳児)を訪問し、24名の園児のみなさんと触れ合い、社協からは助け合いのお話をしました。

その後、園児のみなさんには、あかはねちゃんの似顔絵を描いていただきました。「赤いはね持ってるね」「黄色いスカート着てるね」「あかはねちゃんは海を見るのが好きって言ったから海も描くよ」とそれぞれにあかはねちゃんの特徴をよく捉えて、可愛いあかはねちゃんの似顔絵ができあがりました。みなさんありがとうございました。

できあがった似顔絵は、11月3日(祝)、ゆめタウン様のゆめ広場にて掲示し、赤い羽根共同募金のPRに協力していただきます。同時にあかはねちゃんの塗り絵コーナー等も設置し、共同募金のご依頼をさせていただきます。園児のみなさんの可愛い似顔絵をご覧くださいとともに、「私たちの町を良くするしくみ：共同募金」にご協力をお願いします。



福祉学習にお邪魔しました！

北小学校の4年生が、9月28日に特別養護老人ホーム松寿苑さんを講師にお迎えし車いす体験、10月5日にはボランティアグループほのぼのカーボさんを講師にお迎えしエルダートライ(高齢者疑似体験)を行い、2つの学習を通して福祉とは何かの勉強をされました。

2つの学習で、車いすに乗っている人や高齢者の困りごとが全て同じではないので、どんな人にも最初に困っていることはないか話を聞くことが大切ということを学ばれました。

社協では福祉学習の講師の紹介や調整、車いすやエルダートライ、白杖などの福祉用具の貸し出しを行っています。福祉について学びたいという団体がありましたらお気軽にご相談下さい♪

